

くるめ診療情報ネットワークと佐賀県ピカ  
ピカリンクの圏域越え連携  
～ その課題と解決方法

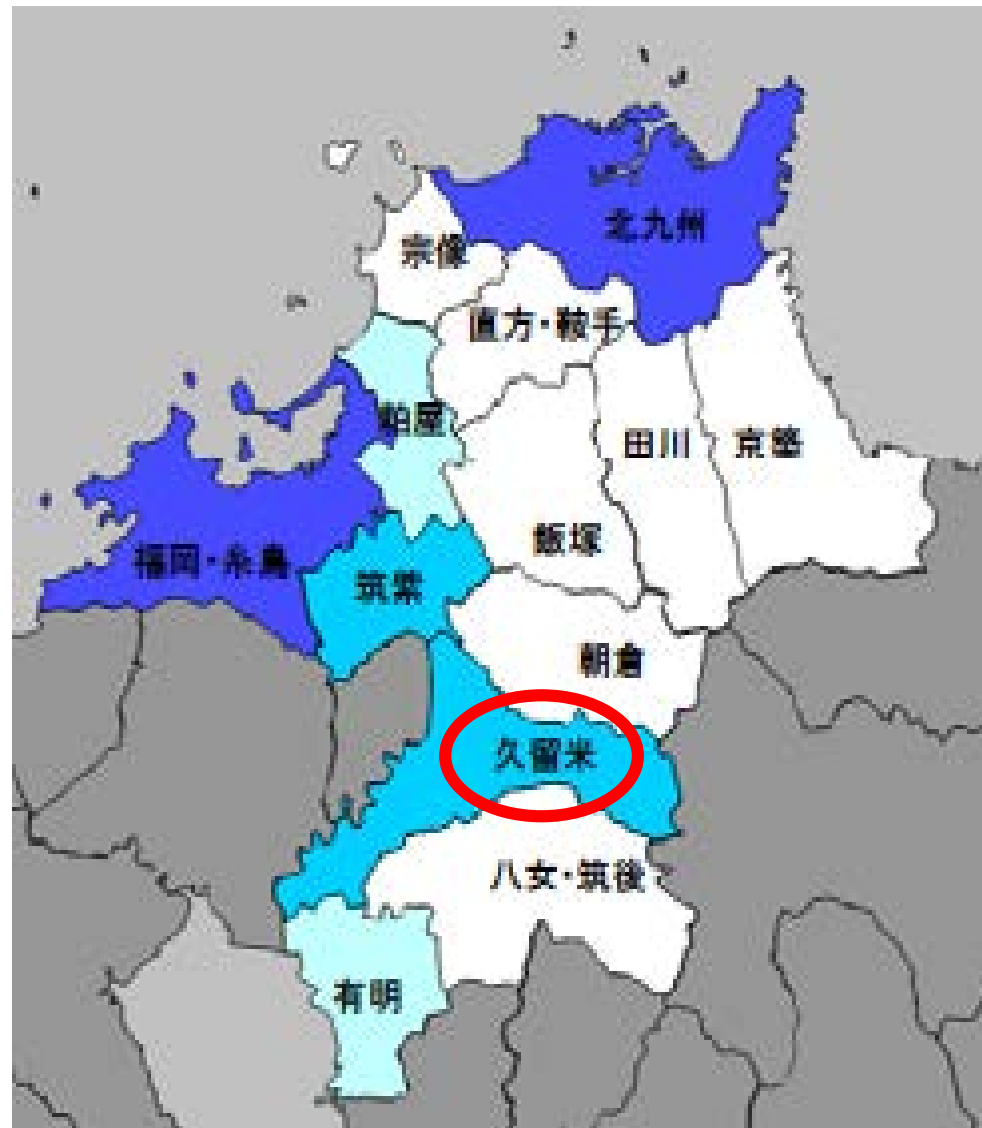
第4回全国ID-Link研究会

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

地域連携担当・医療情報科 荒木 昭輝



# くるめ診療情報ネットワーク (アザレアネット)



佐賀県：5エリアの  
2次医療圏を有する

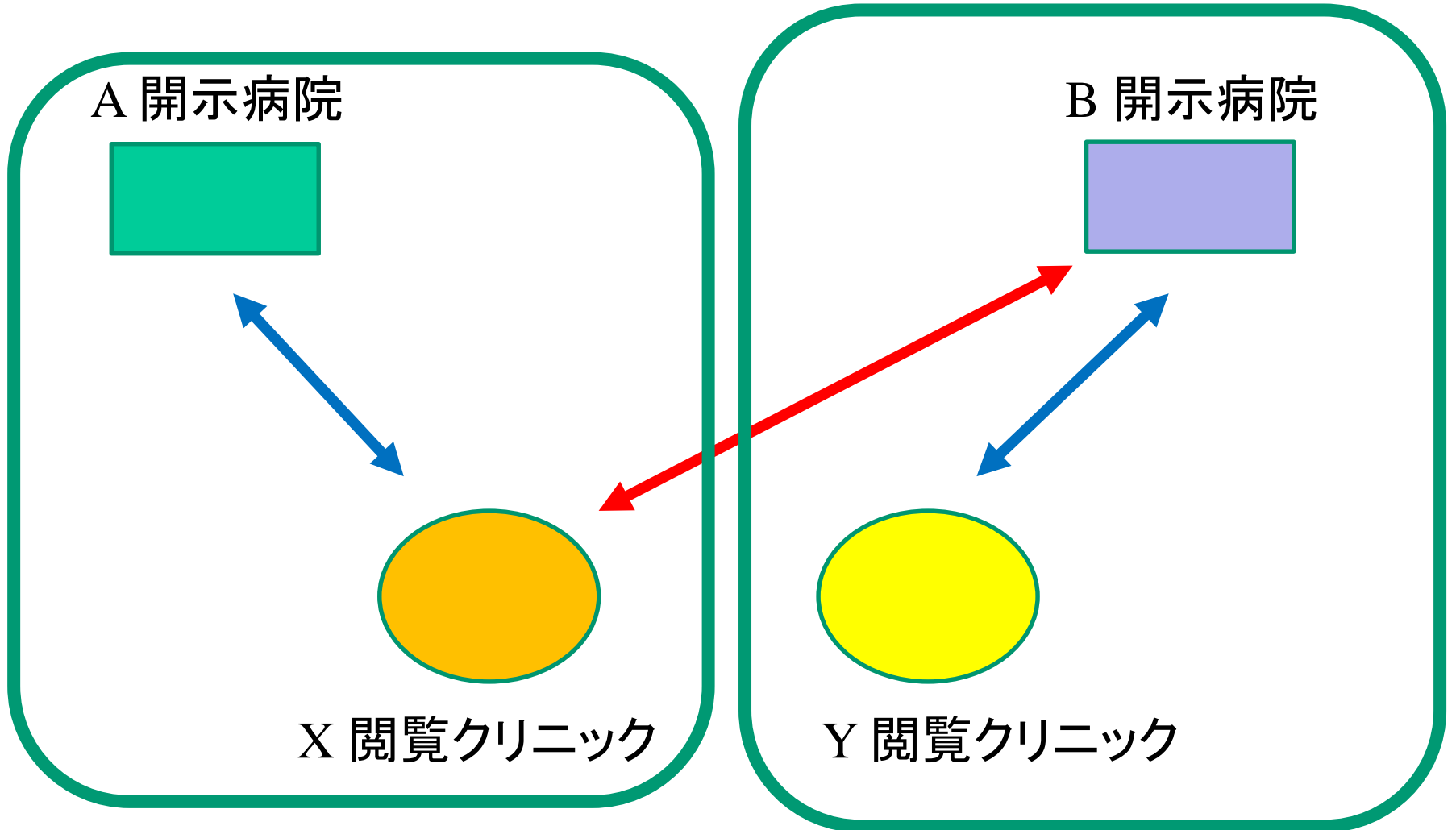
# くるめ診療情報ネットワーク

- 2012年8月に久留米市、4医師会（久留米、小郡三井、浮羽、大川三潑）、聖マリア病院グループ（1295床）、久留米大学（1094床）、古賀病院グループ（432床）、嶋田病院（150床）が参加して、協議会を設立（アザレアネット）。
- 久留米二次医療圏には国公立病院はなく、補助金なしで導入。
- 開示施設は6、閲覧施設は51。
  - 久留米地区と西隣の鳥栖地区は経済・文化的にほぼ一体で人的交流が盛ん。県境を越えた地域連携も活発。
  - 久留米のアザレアネットと佐賀県のピカピカリンク間での連携のニーズも高い

# ユニオン越えの連携リンク

ピカピカのユニオン

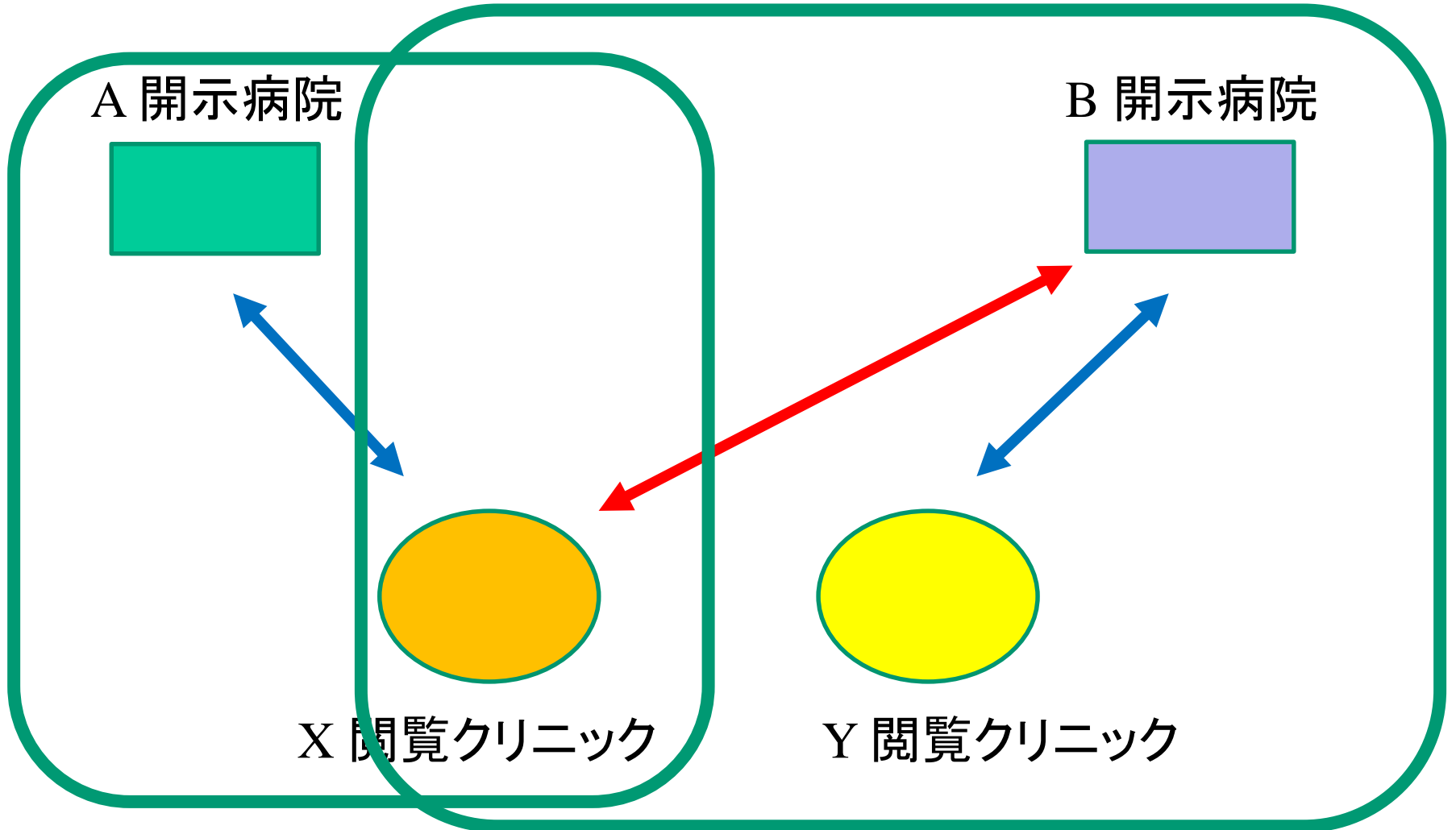
アザレアのユニオン



# ユニオン越えの連携リンク

ピカピカのユニオン

アザレアのユニオン



# 圏域を越えた連携の課題

1. セキュリティポリシーの違い
2. 費用負担の問題
3. 同意書等書式の違い
4. 同意書取得運用方法の違い
5. 入会運用フローの違い
6. 連携施設追加の方法確立

# セキュリティポリシーの違い

- ピカピカリンクは OD-VPN を必須とはしていないが、ほとんどの閲覧施設が県からの補助を得て導入済み。
- アザレアネットは OD-VPN は条件としていない。  
→ ピカピカ側が了解

# 費用負担の問題

- 両協議会とも閲覧施設の会費は無料。
- アザレアネットは地区外閲覧施設は有償だが、他協議会所属施設は協議会間協定があれば無償。
  - 両協議会間で覚書(2013年6月調印)



# 同意書等書式の違い

- アザレアネットはピカピカリンクの書式をほぼコピーして使用。
- 久留米から、福岡県八女筑後地区、大分県日田地区にも同じものを提供。北部九州統一書式を志向。
- 途中、ピカピカ内部で書式変更の提案あるも、久留米側から撤回要請し、統一書式へ。
- ピカピカ側も同意書から「佐賀県限定」を削除。

# 同意書取得運用方法の違い

- 家族から同意取得の許諾はピカピカリンクに準じ、規約・同意書を含め、すべて合わせることにした。
- 取得した同意書の送信は、ピカピカはFAXのみ。アザレアは郵送、患者持参も可。

# 入会運用フローの違い

- アザレアの入会は事務局から NEC と開示施設に連絡するフロー。
- ピカピカでの入会は、開示施設を介するフローとなっているため、鳥栖地区からの入会は紹介が発生しない可能性が高い東佐賀病院を介する。  
→ 東佐賀病院の了承

# 連携施設追加方法の工夫

- ID-Link では DB は全国共通であるため、圏域を超えた連携が容易に出来る仕組みであるが、ユニオン超えとなるため、対象閲覧施設のユニオン設定追加が必要。
- ID-Linkの申込書にチェック欄を追加し、相手側のユニオンへの登録を申請。

# 「ID - Link」サービス 登録情報変更申請書(閲覧施設様用)

日本電気株式会社 医療ソリューション事業部 事業推進部 行  
(〒108-8001 東京都港区芝5-7-1 NEC本社ビル)

変更 申込用

地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」利用約款に同意し、次の通り申し込みます。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただいた情報は、NECが提供する「ID-Link」サービスの解約手続きおよび関連するご連絡に利用させていただきます。  
「NEC個人情報保護方針」に関しては(<http://www.nec.co.jp/privacy.html>)をご参照ください。

また記載されたすべての情報は、株式会社エスイーとの地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」利用基本契約に基づき、お申し込みサービス利用手続きのためにデータにて同社に提供します。

ご不明な点は「ID-Link」サービス窓口([necidlink@med.jp.nec.com](mailto:necidlink@med.jp.nec.com))にお問い合わせください。

## ① ご契約者情報

申込日 年 月 日

施設名	フリガナ		
代表者名	フリガナ		
住所	〒		
TEL			床

## ■ 変更情報

- \* 変更理由を記載の上、次の枠へ変更依頼内容の記載をお願い致します。
- \* 引き落とし口座に関する変更の場合は、別紙 預金口座振替申込書の記載もお願い致します。

変更理由及び変更内容記載欄

佐賀県ピカピカリンクとの連携希望

# ピカピカとの連携開始後の状況

- 2013年7月1日から連携開始。
- 両協議会内部で広報し、連携希望施設登録を開始。
- ID-Linkの申込書にチェック欄を追加し、相手側のユニオンへの登録を申請。
- ピカピカ側からの連携希望施設は30。アザレアのユニオンに追加中。
- 現時点でアザレア側の開示施設と連携リンクしている施設は5。連携患者は168。
- アザレア側からピカピカのユニオンへの参加施設はなし。

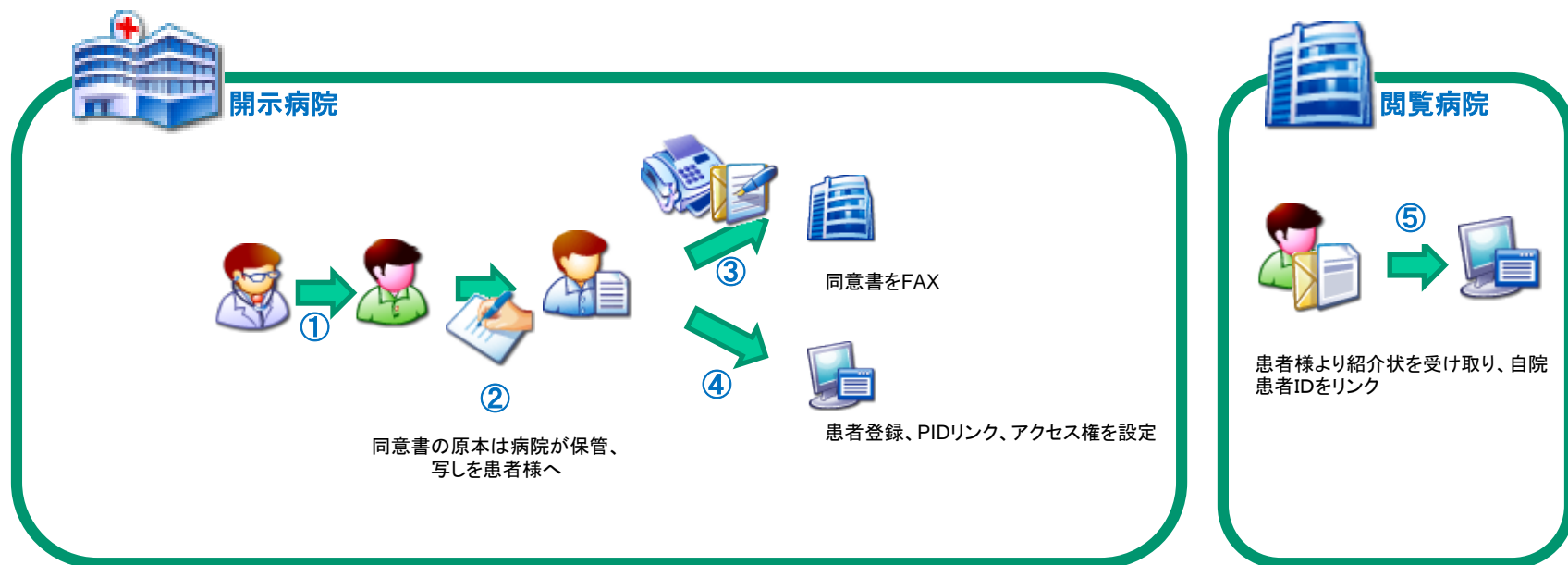


# 基本的な同意の流れ

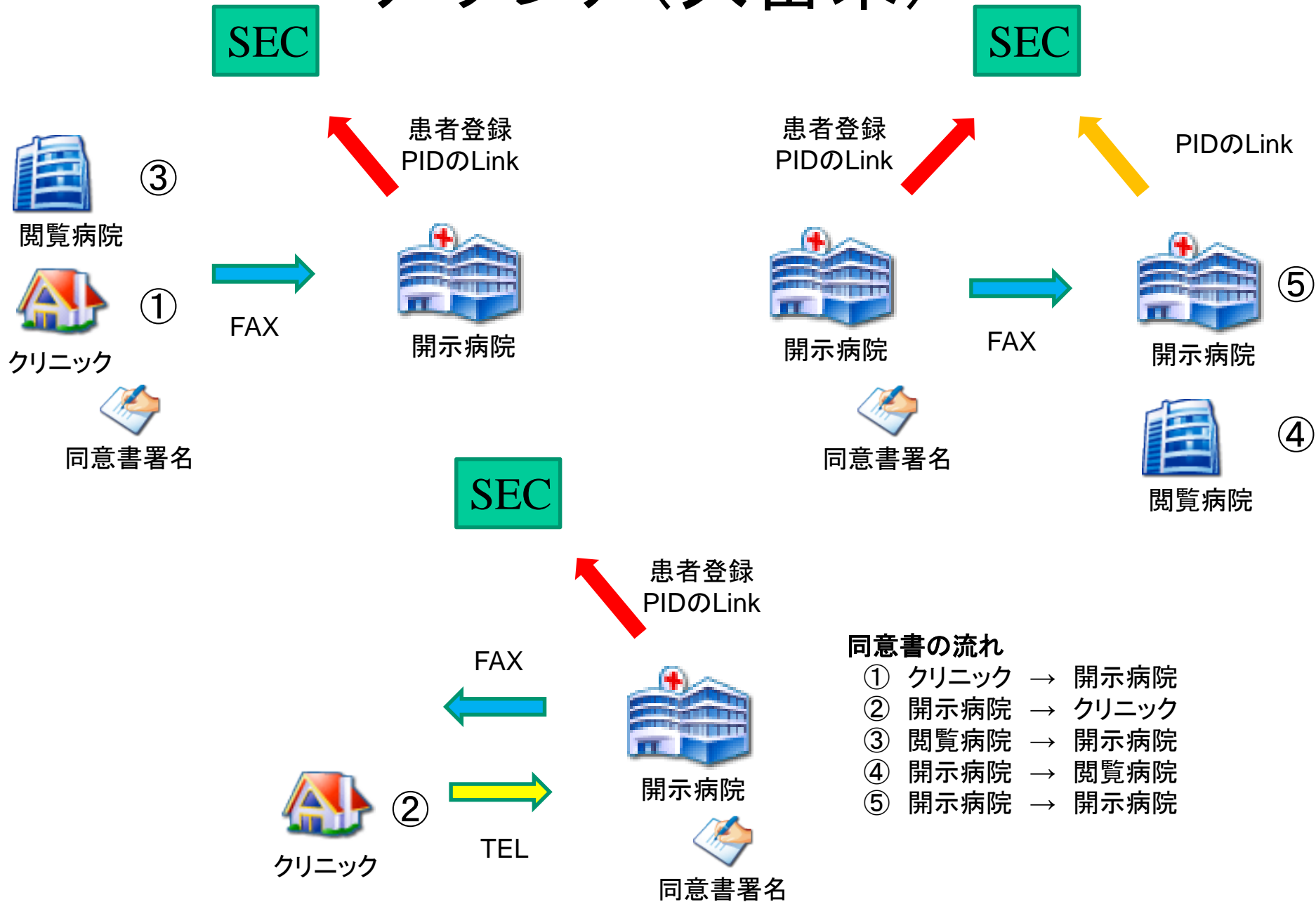
## 開示病院→閲覧病院

### 例) 入院患者の急性期病院から回復期病院への転院

- ① 医師よりサービスの内容を簡単に説明し、地域連携室を紹介(医師は紹介状を作成)
- ② 地域連携室よりサービスの内容を説明し患者より同意を得る  
(自署で同意書に記載してもらう)
- ③ 地域連携室より閲覧病院へ同意書(送信票含む)をFAX
- ④ 地域連携室にて患者を登録し、自院患者IDをリンクし、アクセス権を設定
- ⑤ 紹介状(FAX)を受け取り、自院患者IDをリンク。

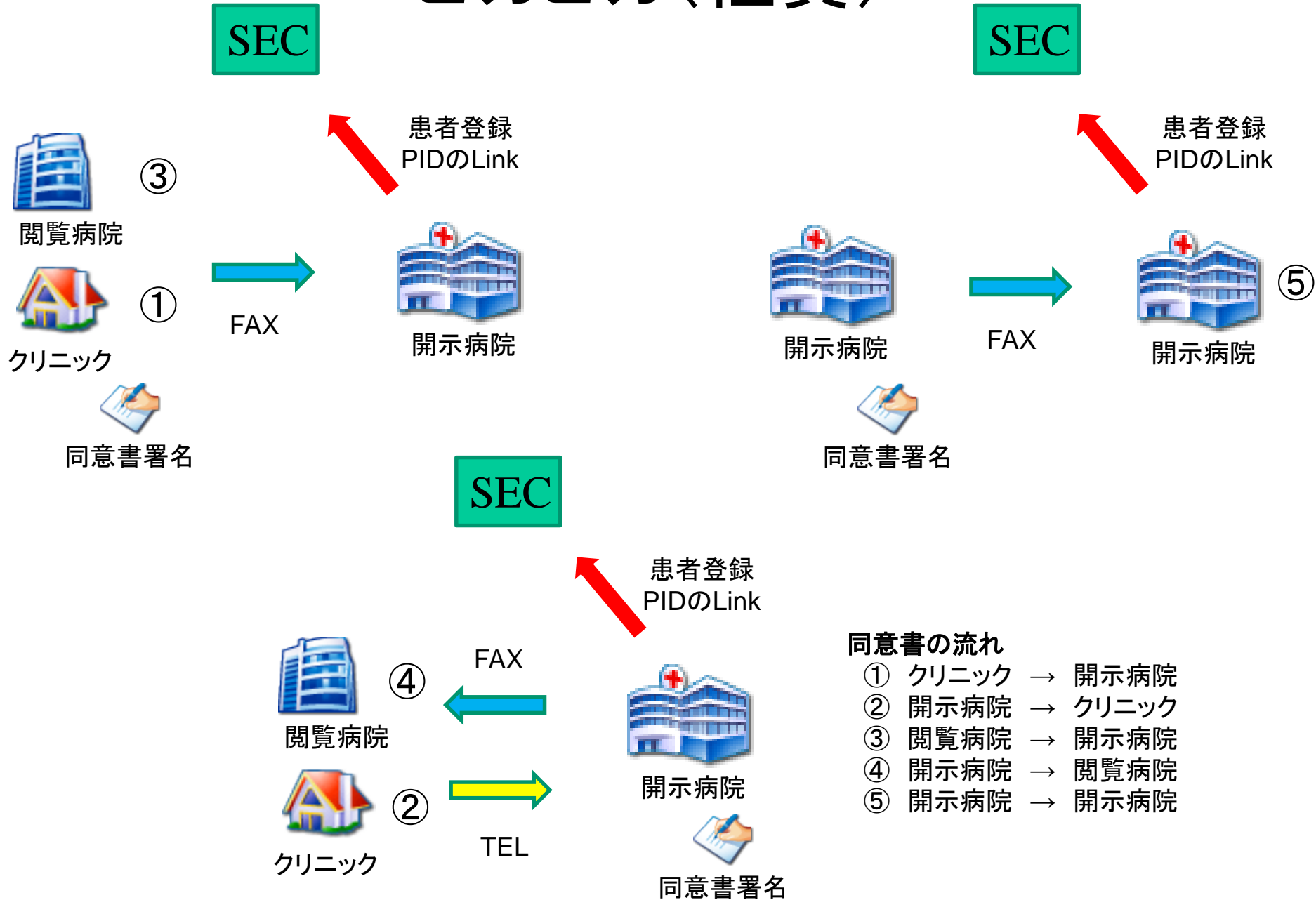


# アザレア(久留米)

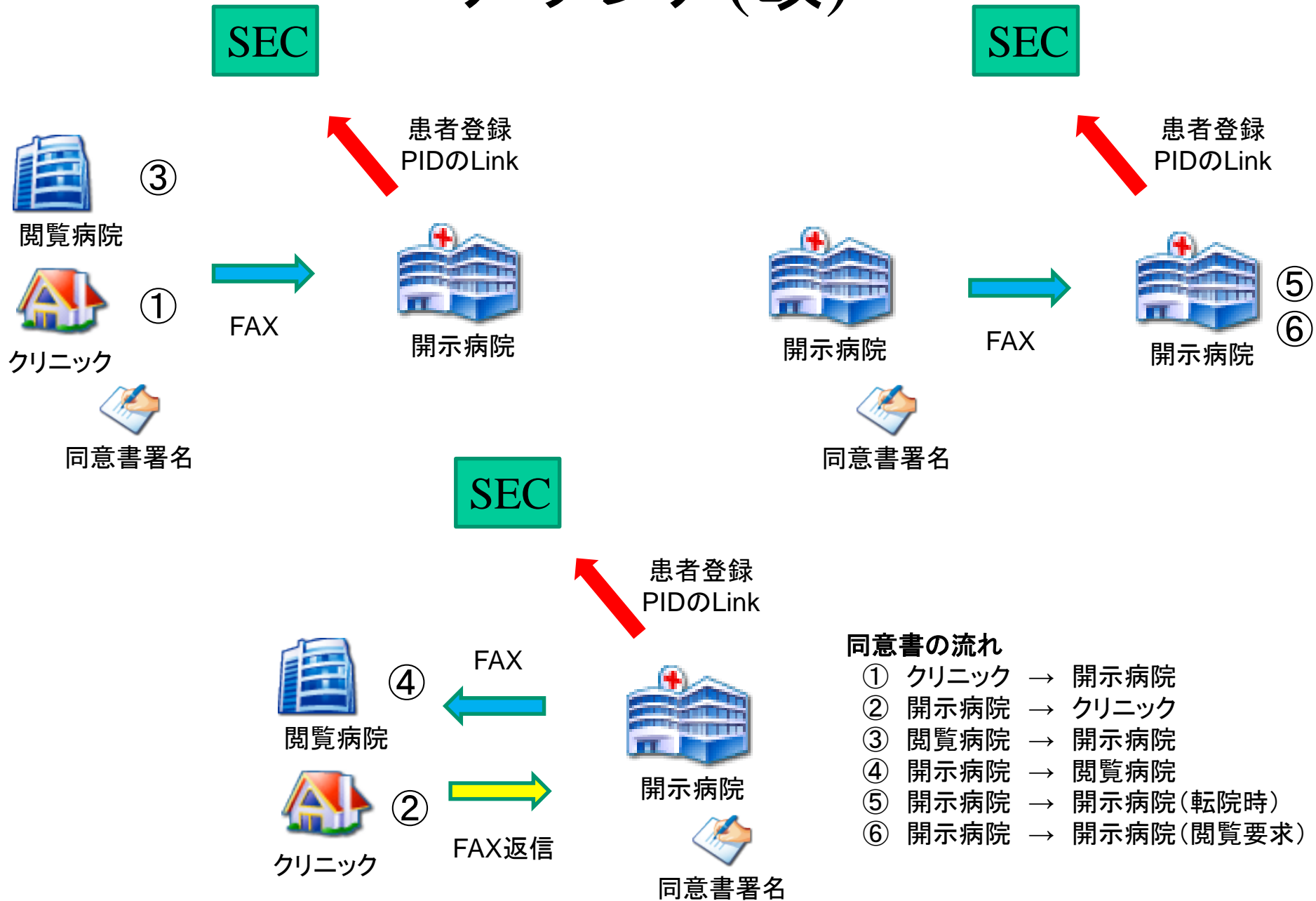




# ピカピカ(佐賀)



# アザレア(改)



# 圏域超え連携開始後判明した課題

- 転院時の病病連携は、PIDのリンクをどちらの病院が行うかについて、ピカピカとは異なることが判明。
  - アザレアは各施設が自院のPIDをリンクし、ピカピカでは紹介先がリンク操作  
→ 閲覧病院で同意書取得し、開示病院にFAXすること  
とした(病診連携と同じフロー)が、連携数は伸び悩み。
- 久留米大学の開示開始後は開示病院間の非紹介閲覧のニーズが多く、迅速な処理が求められることから、PIDリンク方式はアザレア側がピカピカ方式に変更することとした。

# まとめ

- 2013年7月からアザレア・ピカピカ間の連携を開始。
- 事前に想定した6つの課題については、対応策が有効で、連携開始後には問題とはならなかった。
- 病病連携はPIDのリンク方式の違いがあることが判明し、アザレア側がピカピカ方式に変更することとした。
- 運用フローの分類・標準化・開示が必要と思われた。